

秋の農作業安全運動を進めましょう

運動期間：9月1日～11月30日

秋の農繁期となり、農業機械を使う機会が多くなります。以下の重点事項に留意しつつ、特に秋の重点呼びかけ事項に注意して、地域での農作業事故ゼロを目指しましょう。

学ぼう！正しい安全知識

～農業機械作業研修・熱中症対策研修の拡大と充実、未熟練農業者への研修実施～

< 秋の重点呼びかけ事項 >

1. 農作業を行うときは、準備や撤収作業（ほ場の出入り、軽トラへの積み下ろしなど）に細心の注意を払おう。
2. 安全キャブ・フレーム付きトラクターを使用し、作業時はシートベルト・ヘルメットを着用しよう。
3. 機体が大きいコンバインやトラクター等は見えない死角が多く存在するため、十分に注意し、後進時にはより慎重に運転しよう。
4. コンバインの詰まりやトラクターの清掃など、農業機械の点検・整備の時は必ずエンジンを停止し、十分な安全を確保して作業しよう。

< 事故防止のための注意事項 >

1. ほ場の出入りや段差に十分注意して、転落・転倒による事故を防ごう。
 - ・トラクターでの作業が終わったらほ場内でブレーキペダル連結
 - ・トラクターの道路走行は低速で
 - ・傾斜地での高速移動やクラッチ操作の禁止
 - ・小型作業車はスピードを上げたらクラッチ操作禁止
2. 耕耘機での後退時は後方確認を徹底し、転落・転倒や巻き込まれ事故を防ごう。
3. 刈払機は無理な体勢では使用せず、作業環境を確認しながら適切な装備で作業しよう。
4. 単独での作業を避け、声を掛け合い、お互いの状態を確認しよう。



京都府農作業安全推進会議

京 都 府 J A グ ル ー プ 京 都
京都府農業機械士協議会 京都府農業機械商業協同組合
京 都 府 農 業 共 済 組 合



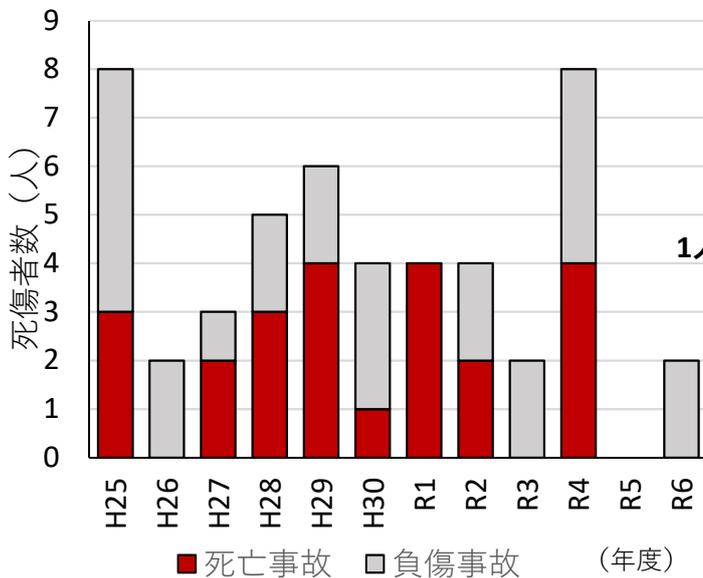


農作業中の事故に気を付けよう！

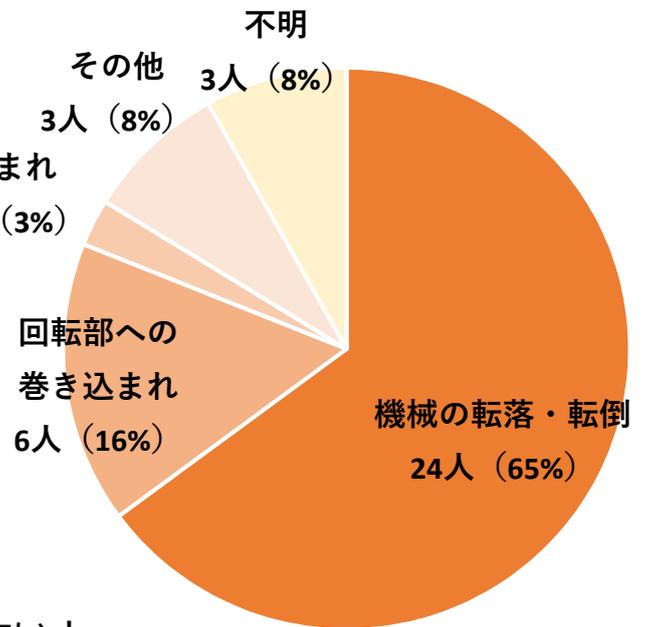
京都府における農作業事故の発生状況

- 府内では過去10年で41件の農作業事故が発生しています。
- 要因別では機械作業に伴う事故が全体の7割以上を占めており、機械の転落・転倒が約半分を占めています。
- 機械別では乗用型トラクター、コンバイン、耕耘機等の事故が多いです。

<農作業事故による死傷者の推移>



<要因別の機械事故>



機械の転落・転倒事故にご注意ください！

- ほ場周辺で転落・転倒の可能性のある危険箇所を確認し、道路端の草刈りや路肩の補強等により**作業環境を改善**しましょう。
- 安全キャブ・フレーム付きトラクターでは、**シートベルトを着用**しましょう。
- コンバインは車体が傾きやすく、特に後退時の転倒事故が多く発生しています。**ほ場の出入口や段差に十分注意**し、段差が大きい場合は歩み板を利用しましょう。

巻き込まれ事故の発生が目立っています！

- 直近5年で3件の巻き込まれ事故が発生しています。
- 詰まり等を除去する際は、**必ずエンジンを停止**してから作業を行きましょう。
- 手こぎ作業の際は**適切な服装**で行いましょう。また、**緊急停止ボタン**の位置を確認しておきましょう。



秋の重点呼びかけ事項

農作業を行うときは
準備や撤収作業
にも細心の注意
を払おう



安全キャブ・フレーム
付きトラクターでは
**シートベルト・
ヘルメットを
着用**しよう



コンバインや
トラクター等の運転では
**死角に注意！
後進時にはより
慎重に運転**しよう



農業機械の点検・整備時は
**必ずエンジン
を停止！**

十分な安全を確保して
作業しよう



京都府秋の農作業安全運動 実施中！

学ぼう！正しい安全知識

～農業機械作業研修・熱中症対策研修の拡大と充実、未熟練者への研修実施～

ほ場の出入口や
段差に十分注意して、
転落・転倒による
事故を防ごう



耕耘機での後退時は
後方確認を徹底しよう



刈払機は無理な体勢
では使用せず、
適切な装備で作業
しよう



単独での作業を避け、
声を掛け合い
お互いの状態を確認
しよう

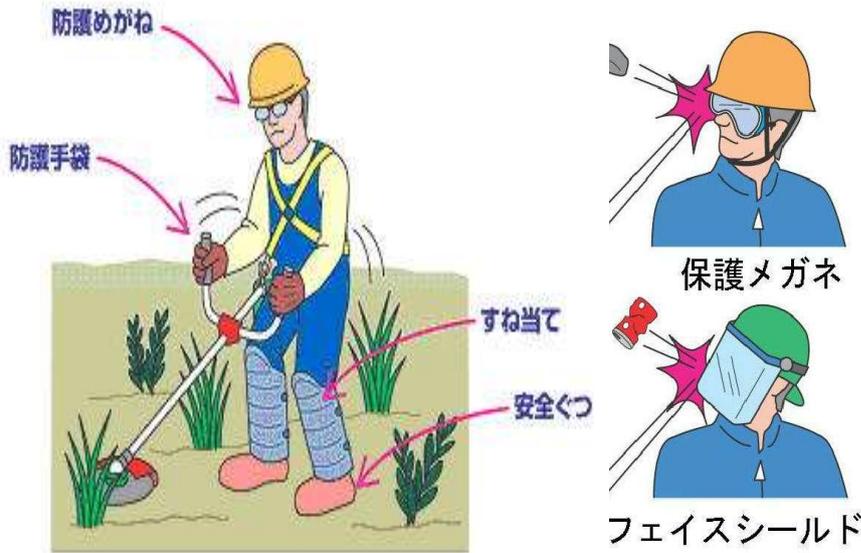


一人で作業をするときは、
周りの人に行き先を伝え、
緊急の連絡手段を持とう

事故防止のための注意事項

刈払機の事故を防止しよう

刈払い作業では身体の防護もしっかりと！！



切断した草、小石等がたくさん飛んできます。万が一のために、**自身も保護具で守りましょう。**

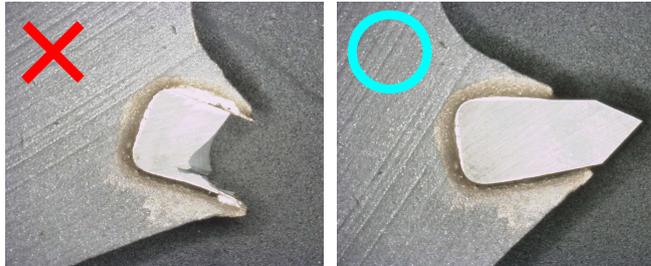
1. 手袋、安全靴、保護メガネ、肩掛けバンドを着用します。
2. 保護メガネには、曇り止めを塗ります。
3. 機械の振動が伝わらないよう、必ず手袋を着用します。
4. 負担を減らし、刈刃を体に近づけないためにも、必ず肩掛けバンドを使用します。

刈払機の刈刃は必ず点検



刈刃にヒビが入ったり、欠けたまま、刈払機を使用すると破片が飛んできて危険です。

刈刃の取付けネジのゆるみがないか、作業前に確実に点検しましょう。



1. 点検時は必ずエンジンを止めましょう。
2. 障害物に接触すると、チップが破損し、破片が飛び散ることがあります。
3. 異常があるときは新しい刈刃と交換しましょう。

刈払機の飛散物防護カバーは付いていますか？



飛散防護カバーは作業の方へ飛散物が飛ばないようにするための物です。**カバーを装着し、安全に作業しましょう。**

1. カバーを決まった位置に取り付けて使用します。
2. カバーが破損した場合には、新品に交換します。
3. 刈刃への巻き付き、詰まりは、必ずエンジンを停止させ、刈刃が止まったのを確認してから取り除きます。